

1. 投稿内容と査読

認知神経リハビリテーションの学術的発展に寄与する論文として、「総説」および「研究と報告」（以下論文）の投稿を受け付けます。ただし他誌に発表された論文、または投稿中の論文でないものに限りません。このほかに、施設における認知神経リハビリテーションについての実施状況、地域での勉強会の様子、海外での研修内容等を報告する「紹介」への投稿も受け付けます。すべての投稿論文について、本誌編集委員および学会査読委員長が推薦する編集協力者による査読を実施します。投稿は随時受け付けます。

2. 著者について

筆頭著者は原則として本会の会員に限りません。ただし、編集委員会が執筆を依頼する場合、あるいは認知神経リハビリテーションの発展に特に寄与する投稿と認めた場合はこの限りではありません。共著者は本会会員でなくても構いません。

3. 論文の種目と長さ

論文の種目と長さの基準は以下の通りです。

- (1) 総説：特定のテーマについて、過去の研究を概観し、論評を加え、将来的展望を加える目的で書かれるもの。論文の長さは、本文・文献を合せて400字詰め原稿用紙45枚、図表5枚以内、計50枚以内とする。図表の増減は認めるが、その場合、図表1点を400字詰め原稿用紙1枚として換算する。
- (2) 研究と報告：実験、調査などから得た新しい所見・見解を記述し、それに考察を加えたもの。または、認知神経リハビリテーションを適用した症例報告をまとめたもの。論文の長さは、本文・文献・図表を合せて400字詰め原稿用紙25枚以内とする。図表は1点につき400字詰め原稿用紙1枚として換算する。
- (3) 紹介：職場での認知神経リハビリテーションの実施状況、認知神経リハビリテーションに関する海外研修報告などを紹介するもの。論文の長さは、本文・図表合せて400字詰め原稿用紙15枚以内とする。図表は1点につき400字詰め原稿用紙1枚として換算する。

4. 執筆要領

後出の「執筆要領」に従ってください。

5. 採否

原稿の採否は編集委員会において決定します。査読の結果、また編集方針に従って加筆、修正をお願いすることがあります。また、編集委員会の責任において字句等の訂正をすることがあります。

6. 校正について

著者校正は原則として1回とします。校正は赤字で行い、指定の期限内に返送して下さい。

7. 投稿の手続き

- (1) 執筆形式の確認：後出の執筆要領にそっていることを確認して下さい。
- (2) 原稿の部数：計3部（2部は複写で可）と、本文および図表の電子データを提出してください。電子データについては、本文はワープロで、図はPowerPoint等でタイトルとキャプション（図表の説明文）とともに作成してください。図版にJPEG形式などの画像ファイルが使われる場合は、タイトルやキャプションのテキストファイルを必ず別に添付してください。なお、提出された原稿、図表等はお返しできません。
- (3) 郵送：簡易書留で次の宛先まで郵送して下さい。

〒781-0270 高知県高知市長浜6012-10

高知医療学院内

一般社団法人 認知神経リハビリテーション学会 宛

＊執筆要領

1. 次の事項を、日本語および英語の両方で記述し、表紙として原稿に添付して下さい。
 - イ. 表題
 - ロ. 著者名（日本語・英語の両方で）
 - ハ. 職種名（医療専門職でない場合は、職位あるいは学位を記載してください）
 - ニ. 著者の所属機関（全員のを部・科まで詳細に）
 - ホ. 筆頭著者の所属機関の所在地および連絡先（電話番号とe-mailアドレス）
 - ヘ. 3語以上5語以内のキーワード
2. 論文は、表紙、本文（文献を含む）、図表からなるものとします。
本文は400字詰め原稿用紙設定（20字× 20行）とし、A4サイズ用紙に右余白を50mm空けて印字し、用紙下中央にページ番号を入れてください。
3. 外国語名（人名、機器名など）は原語のまま用い、ワープロ等を使用して下さい。ただし、原語が不明なものや日本語化しているものはカタカナ表記しても構いません。
4. 数字は算用数字を用い、度量衡単位は、m, cm, mm, cm, ml, l, dl, g, mgなどとして下さい。ワープロを使用される場合には、英数字は半角にしてください。
5. 図表はそのまま製版しますので仕上がりを考慮してください。図表の箇所を本文中に必ず指示して下さい。
6. 表紙には、連絡先（電話番号、電子メールアドレスを含む）を必ず記載して下さい。
7. オリジナル原稿および図表1部とそれらのコピーを2部ずつ、計3部をお送り下さい。なお、図表が写真の場合は必ず鮮明なものをお使い下さい。
8. 文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列して下さい。著者名の表記は以下の例にならい、共著者は筆頭の1名のみ記載し、2名以上の場合、日本語の文献は「○○○○、他」、欧文の文献は「○○○○, et al」として下さい。なお書籍の場合、引用頁を明記して下さい。
<例>
 - 1) 宮本省三：脳障害における身体と環境。PTジャーナル37：853-861, 2003
 - 2) Perfetti C, 他（小池美納・訳）：認知運動療法；運動機能再教育の新しいパラダイム。51-68, 協同医書出版社、東京、1998
 - 3) Rizzolatti G, et al: Premotor cortex and the cognitive of motor action. Cog Brain Res 3: 131-141, 1996
 - 4) Sakata H: Cortical processing of tactile information; Gordon G (ed): Active touch. p.63, Pergamon press, London, 1979
 - 5) ダマシオ AR（田中三彦・訳）:無意識の脳, 自己意識の脳。5-28, 講談社, 2003
9. 投稿に当たっては、認知神経リハビリテーション学会の研究倫理規定を順守したものであることを必ず記載してください。規定は学会ホームページ（<https://jsncr.jp/organs/organs.html>）の「機関紙」のページからダウンロードできます。
10. 共同研究を行い連名で投稿される場合には、執筆者全員の「投稿承諾書」を作成し同封してください。承諾書も上記と同じ学会ホームページからダウンロードできます。
11. 投稿に当たっては、必ず共著者にあらかじめ原稿を確認してもらったうえで、本誌の投稿および著作権譲渡に関わる承諾書に著者全員の同意署名をしたものを同封してください。
12. 二重投稿や利益相反に注意してください。不明な場合は、編集部までお問い合わせください。

13. 「臨床経験」(症例報告)への投稿の場合は、当会の患者プライバシー保護に関する規定を参照してください。また、患者(未成年や意識障害等がある場合はその家族)に書面にて説明し、書面にて同意を得たうえで、論文にその旨を記載することを原則とします。
14. 「研究と報告」の場合は、「ヘルシンキ宣言(日本医師会・訳)」(<http://www.med.or.jp/wma/helsinki.html>)に沿った研究であることをご確認下さい。特に人体に影響を与える研究に関しては、論文に「倫理的配慮」の項目を設定し、所属施設の研究倫理委員会の承認を受けている、書面にて対象者に説明と同意を得た等の記載を必ず行ってください。それらの記載がない場合は、論文が受理されないことがあります。
15. 具体的な研究倫理の指針については、厚生労働省の科学研究に関する指針*の「医学研究に関する指針一覧」のうち、自分の研究内容に応じたものに従ってください。
* <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/>